

「知的わくわく磁性流体モデル」を大学と中学校が協働で実現し、
科学のわく組を動かせる次世代理系人材を育成する

令和 7 年度 開講式 2025年6月28日 (土) 開講式



自己紹介カード
ゲットだぜ！



県内各地から35名の皆さんにご参加いただき、令和7年度のプログラムが無事にスタートしました。新たな試みとして、情報端末の活用も進めてまいります。初期設定も無事に完了しました。3月のMM☆発表会を目指して、ワクワクする探究をみんなで一緒に進めていきます。

令和 7 年度 第1日目 2025年6月29日 (日)
東北大学 富田知志先生 『メタ』ってなんだ？



透明人間になる方法をマジメに考えます。どうやったら透明になれる？透明ってどういうこと？そもそも見えるってどういうこと？

富田先生から「自分の頭でぼんやり、じっくり考えてみてください」という宿題が出ていました。皆さんとても真面目に取り組んでくださって、いろいろな考えが出て、とてもいい議論になりました。お互いの考えを尊重しながら対話することの大切さを、改めて感じました。

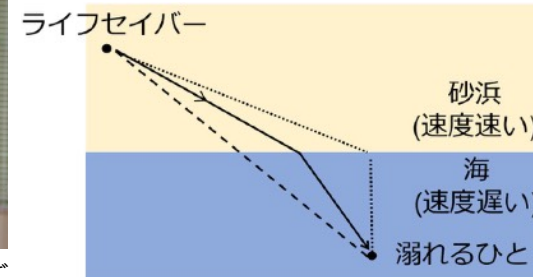


ワイワイ みんなで 対話

反射と吸収（色）がなくなれば見えなくできる。モノの屈折率が空気の屈折率と一致すればよい。屈折率を操れば光を操ることができる。



目的地まで、移動速度が変化する状況で、どの経路が一番はやく溺れている人にたどり着くことができるだろうか。



メタマテリアルの透明マントで透明になった人は、本当に幸せなのでしょうか。講座の中では、こうした問いをはじめ、多くの問いに触れました。問い続けることが、探究の原動力になるのだと、改めて気づかされました。

アナロジー（類比）を使う。二つの異なるものの間にある似た関係性を見つけて、それを利用して、理解しようとする思考法。研究を深めるために使う場合もある。